

## Ⅱ 農業・食品産業の持続的な発展

### 1 農業経営の動向

#### (1) 農家数と農業労働力

平成17年2月1日の東北の販売農家数は37万800戸、主業農家は8万1,900戸

17年2月1日現在の東北の販売農家数は、37万800戸で12年に比べ12.9%減少したのに対し、自給的農家数は9万2,700戸で13.8%増加した（表Ⅱ－1）。

表Ⅱ－1

#### 農家数

(単位：千戸、%)

区 分	実 数						増 減 率 (平.17/12)		
	平成17年			平成12年			総農家数	販売農家	自給的農家
	総農家数	販売農家	自給的農家	総農家数	販売農家	自給的農家			
東 北	463.5	370.8	92.7	507.1	425.6	81.4	▲ 8.6	▲ 12.9	13.8
青森県	61.6	50.8	10.8	70.3	60.0	10.3	▲ 12.4	▲ 15.3	4.8
岩手県	86.0	67.3	18.7	92.4	75.9	16.5	▲ 6.9	▲ 11.3	13.3
宮城県	77.9	62.7	15.1	85.0	71.3	13.6	▲ 8.4	▲ 12.1	11.1
秋田県	72.0	60.3	11.7	80.6	70.0	10.5	▲ 10.6	▲ 13.9	11.0
山形県	61.6	49.0	12.6	67.6	56.6	10.9	▲ 8.9	▲ 13.5	14.9
福島県	104.4	80.6	23.8	111.2	91.7	19.6	▲ 6.1	▲ 12.1	21.8
全 国	2,848.2	1,963.4	884.7	3,120.2	2,336.9	783.3	▲ 8.7	▲ 16.0	12.9

資料：農林水産省「農林業センサス」

- 注：1) 「農家」とは、経営耕地面積が10a以上または経営耕地面積がこの規定に達しなくても農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯。  
 2) 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家。  
 3) 「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。

販売農家を主副業別にみると、主業農家は8万1,900戸で12年に比べて11.1%、準主業農家は10万8,100戸で21.0%、副業的農家は18万800戸で8.1%それぞれ減少した（表Ⅱ－2）。

表Ⅱ－2

#### 主副業別販売農家数

(単位：千戸、%)

区 分	東 北			全 国						
	実 数		増減率 (平.17/12)	構 成 比		実 数		増減率 (平.17/12)	構 成 比	
	平成17年	平成12年		平成17年	平成12年	平成17年	平成12年		平成17年	平成12年
販 売 農 家	370.8	425.6	▲ 12.9	100.0	100.0	1,963.4	2,336.9	▲ 16.0	100.0	100.0
主 業 農 家	81.9	92.1	▲ 11.1	22.1	21.6	429.5	500.5	▲ 14.2	21.9	21.4
65歳未満の農業 専従者がいる	67.5	76.9	▲ 12.1	18.2	18.1	370.1	438.0	▲ 15.5	18.9	18.7
準主業農家	108.1	136.9	▲ 21.0	29.2	32.2	443.4	599.4	▲ 26.0	22.6	25.7
65歳未満の農業 専従者がいる	33.3	43.8	▲ 24.0	9.0	10.3	139.0	196.4	▲ 29.2	7.1	8.4
副業的農家	180.8	196.7	▲ 8.1	48.8	46.2	1,090.6	1,237.0	▲ 11.8	55.5	52.9

資料：農林水産省「農林業センサス」

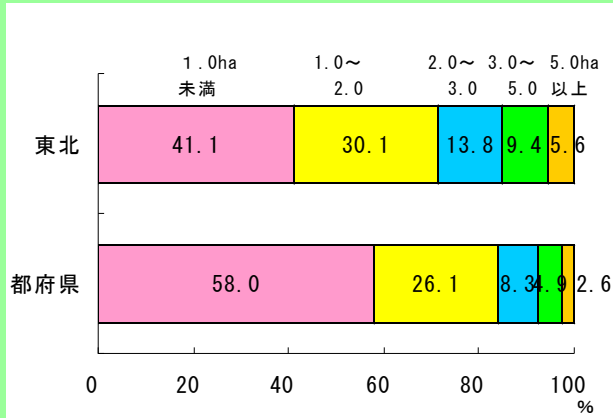
- 注：1) 「主業農家」とは、農業所得が主で、年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家。  
 2) 「準主業農家」とは、農外所得が主で、年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家。  
 3) 「副業的農家」とは、年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家。  
 4) 「農業専従者」とは、過去1年間に自営農業に150日以上従事した者。

## Ⅱ 農業・食品産業の持続的な発展

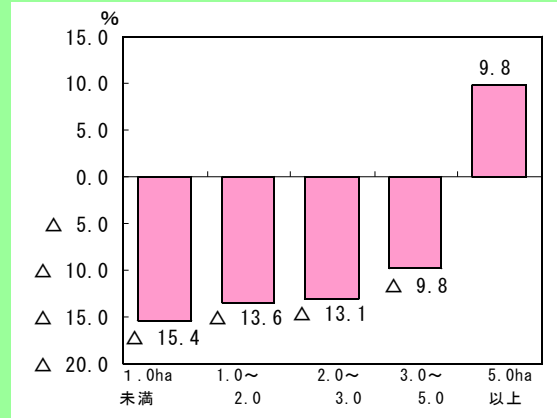
販売農家を経営耕地面積規模別にみると、東北は都府県に比べ規模の大きい階層の割合が高くなっている。また、階層別の動向をみると、12年に比べて5.0ha未満では各階層とも減少したが、5.0ha以上は9.8%増加した（図Ⅱ－1）。

図Ⅱ－1

経営耕地面積規模別農家数割合  
（平成17年・販売農家）



経営耕地面積規模別農家数の増減率  
（東北・販売農家、平成17年/12年）



資料：農林水産省「農林業センサス」

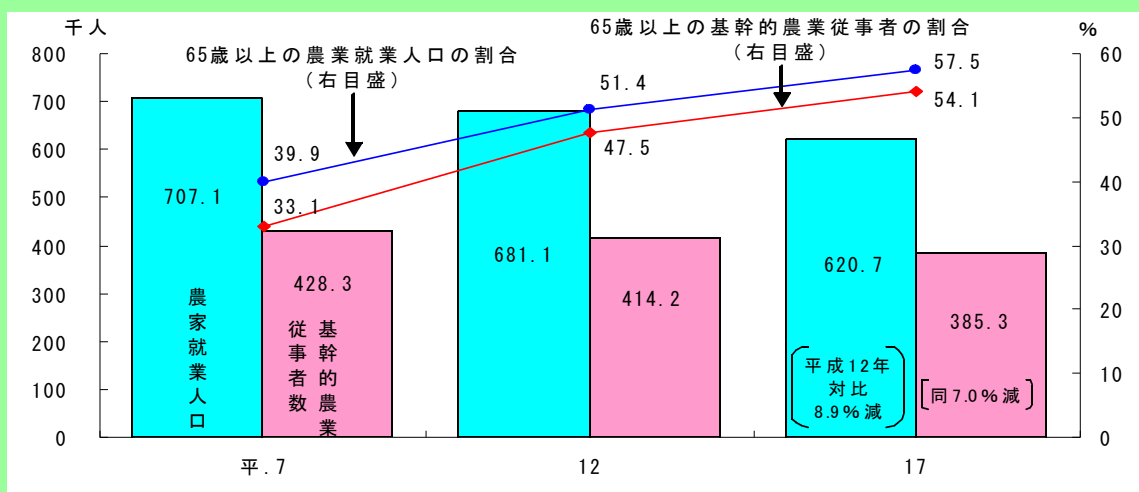
### 17年の東北の農業就業人口は12年に比べて8.9%減少

17年の農業就業人口は62万700人で、12年に比べて8.9%減少、基幹的農業従事者数は38万5,300人で7.0%それぞれ減少している（図Ⅱ－2）。

一方、農業就業人口、基幹的農業従事者ともに65歳以上の世帯員の占める割合は、年々上昇しており、農業労働力は減少しつつ高齢化が進む状況が続いている。

図Ⅱ－2

農業就業構造の推移（販売農家・東北）



資料：農林水産省「農林業センサス」

注：1)「農業就業人口」とは、自営農業に主として従事した世帯員数。

2)「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、仕事の主の世帯員。

(2) 農家経済を巡る動き

18年の農業産出額は米産出額は減少したものの、野菜、果実部門の増加によりわずかに増加

18年の東北の農業産出額は1兆3,872億円で、前年に比べ0.3%（48億円）増加した。

部門別の農業産出額をみると、米は生産量の減少と価格の低下から前年に比べ4.3%減少した。野菜、果実は総じて価格が上昇したことから前年に比べそれぞれ7.3%、6.8%増加した。また、畜産部門は、肉用牛が前年に比べ2.6%、鶏が2.0%それぞれ増加した。乳用牛は生乳生産量の減少、豚は価格の低下から3.4%、0.4%それぞれ減少した。

県別にみると、青森県、岩手県、山形県が前年に比べ3.1%、0.1%、1.3%それぞれ増加した。これは、米は減少したものの、主に野菜、果実で生産量が増加したことや価格が上昇したことなどによる。一方、宮城県及び秋田県は米の価格が低下したことなどから3.4%、0.3%それぞれ減少した。

また、生産農業所得は5,446億円で、米の産出額が減少したものの、野菜、果実等で増加したことから前年に比べ1.2%（66億円）増加した。（表Ⅱ-3）。

表Ⅱ-3

農業産出額及び生産農業所得の状況（平成18年、東北）

区 分	農業産出額（億円）							対前年増減率（%）						
	東北	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東北	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
農業産出額	13,872	2,885	2,544	1,929	1,861	2,152	2,500	0.3	3.1	0.1	▲3.4	▲0.3	1.3	0.0
うち、耕種部門	9,997	2,180	1,214	1,252	1,562	1,832	1,958	0.3	4.5	▲2.5	▲4.1	▲0.3	1.7	▲0.4
うち、米	5,094	589	639	863	1,108	919	975	▲4.3	▲3.9	▲7.1	▲6.2	▲2.7	▲3.4	▲3.7
野菜	2,303	653	267	268	265	327	523	7.3	10.9	4.3	3.5	7.3	7.6	6.3
果実	1,751	771	128	23	85	461	284	6.8	6.8	0.0	9.5	11.8	8.7	6.4
花き	295	30	63	39	29	68	66	▲0.7	0.0	8.6	▲2.5	3.6	1.5	▲10.8
工芸作物	234	68	74	5	27	10	51	▲2.9	4.6	0.0	▲16.7	▲6.9	▲9.1	▲8.9
うち、畜産部門	3,859	704	1,330	674	298	316	537	0.5	▲0.8	2.6	▲2.2	0.0	▲0.6	1.5
うち、肉用牛	794	81	211	200	58	92	152	2.6	0.0	5.0	3.1	0.0	3.4	0.7
乳用牛	686	69	228	149	36	91	113	▲3.4	▲5.5	▲3.0	▲3.9	0.0	▲6.2	▲0.9
豚	896	214	222	119	138	100	103	▲0.4	▲4.0	5.2	▲6.3	0.0	3.1	▲1.0
鶏	1,451	330	660	201	64	31	165	2.0	1.9	3.1	▲2.9	0.0	▲6.1	6.5
生産農業所得	5,446	1,228	828	788	659	882	1,061	1.2	3.6	0.6	▲4.9	▲1.6	3.3	4.0
農家1戸当たり 生産農業所得（千円）	1,175	1,994	962	1,012	916	1,429	1,016	1.3	3.6	0.5	▲4.9	▲1.4	3.3	4.1
耕地10a当たり 生産農業所得（千円）	62	77	53	57	43	71	70	1.6	4.1	0.0	▲5.0	▲2.3	4.4	4.5

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

注：生産農業所得＝農業総産出額×所得率（農業経営統計調査から産出）＋交付金等

## Ⅱ 農業・食品産業の持続的な発展

### 18年の主業農家の農業所得は367万円で、販売農家平均（131万円）の約3倍

東北における18年の販売農家1戸当たり（経営形態別経営統計（個別経営））の農業粗収益は408万円、農業経営費は277万円で、農業所得は131万円となった。これに農業生産関連事業所得、農外所得及び年金等の収入を加えた総所得は484万円となった。

また、主業農家の農業所得は367万円で、販売農家平均の約3倍となっている（表Ⅱ－4）。

表Ⅱ－4

平成18年農業経営の主要指標（東北・販売農家1戸当たり）

（単位：万円）

区 分	販売農家 平 均	販売農家平均		
		主業農家	準主業農家	副業的農家
農 業 所 得	131.4	367.0	81.5	39.4
農 業 粗 収 益	407.9	947.3	393.1	174.0
農 業 経 営 費	276.5	580.3	311.6	134.6
農業生産関連事業所得	0.9	1.2	4.1	▲ 0.2
農 外 所 得	198.3	47.4	400.1	221.6
年 金 等 の 収 入	153.5	76.8	85.6	201.9
総 所 得	484.1	492.4	571.3	462.7

資料：農林水産省統計部「農業経営統計調査」（経営形態別経営統計（個別経営））

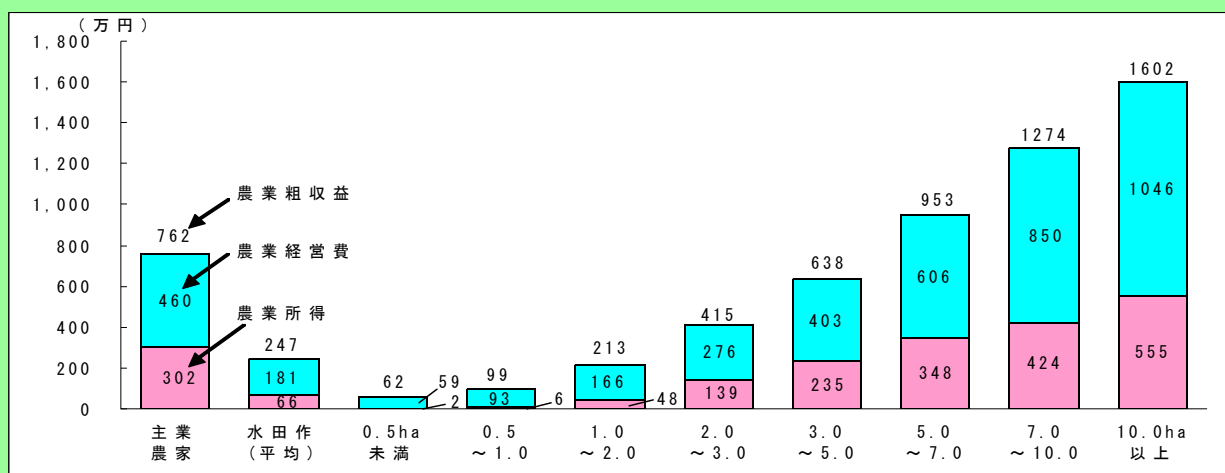
### 18年の水田作主業農家の農業所得は水田作経営（平均）の4.6倍

東北における18年の水田作経営農家1戸当たり（経営形態別経営統計（個別経営））の農業粗収益は247万円で、農業経営費181万円を差し引いた農業所得は66万円となった。水田作経営農家のうち主業農家では、1戸当たりの農業粗収益は762万円で、農業経営費460万円を差し引いた農業所得は302万円で、水田作経営（平均）の4.6倍となっている。

また、水田作作付延べ面積規模別にみると経営規模の拡大に伴い農業所得が増加し、10ha以上の規模でみると555万円となっている（図Ⅱ－3）。

図Ⅱ－3

水田作経営の概要（平成18年・東北、1戸当たり）



資料：農林水産省統計部「農業経営統計調査」（営農類型別経営統計（個別経営））